

2月予算議会

コロナ対策にもっと予算を

2月16日に施政方針と教育行政運営方針が示され、25日から、本議会が始まります。緊急事態宣言のもと、議長から「一般質問は中止」と提案されましたが、共産党と無所属の会が「一般質問を行うように」要望しました。その結果、代表質問の時間を延長して、一般質問もできるようにするということになりました。

共産党の持ち時間3時間5分のなかで、2月26日（金）午後2時以降に、代表質問を清水みな子、補足質問をやなぎ美智子、一般質問を金子貞作、廣田徳子の各市議が行うことになりました。（項目は裏面に掲載）

2月議会の提案議案は42件（条例16件、予算9件、一般2件、諮問4件、承認2件、報告9件）となっています。

●一般会計の予算規模は、前年度比▲22億円で、1598億円。コロナの影響で個人市民税が減少したことによるものです。特別会計（国保、介護、後期高齢者医療）は、前年度比＋6億4200万円で、747億8300万円。公営企業会計（下水道事業）は、前年度比＋11億円で、198億3500万円。

コロナ関連事業

●新型コロナウイルス感染症への対応として、子ども施設感染症対策（子ども用マスク購入や消毒経費など）に2億1670万円、中小企業資金繰り支援（信用保証料や利子補給）に1億3466万円、子育て世代包括支援事業（妊娠・出産支援事業＝タクシー代補助1回1500円、最大34回）3685万円。

●新型コロナウイルスワクチン接種については、専決処分で10億3千万円。65歳以上の市民を優先対象として実施します。

新規事業や拡大・重点事業で、コロナ禍のなか、先送りしてもよいと思われる事業

●市川市とイタリア・カゼルタ市と協働で「市川×カゼルタ アート&バールフェスタ」を開催（コロナ禍で来日も難しいのではないのでしょうか）
412万円

●文化施策活性化事業 市民が日常的に文化に触れることができるまちづくり（伝統芸能イベントの開催、街なかアート事業としていますが、オンラインサイトの運営はできるかもしれませんが、見る人は限られます）
3,620万円

●新たな学びと交流の場づくり事業 市川駅北口の観光・物産案内所を修繕して、本を介した「学びと交流の場」を整備する（大きな本棚に本が並び、図書館ではありません。目的や利用者同士の交流とはどんなイメージなのでしょうか）
6,132万円

●海外都市交流事業（コロナ禍では海外都市との交流は難しいのではないのでしょうか）
1,336万円

●スマートダストボックス開発事業 生ごみを24時間いつでも排出することができるボックス。（公共施設まで生ごみを捨ててに行くのでしょうか。無駄遣いです）
604万円（昨年も595万円）

●いちかわ未来創造会議（先進技術の社会をめざすスーパーシティの先取り事業で、認められません）
1,600万円

代表質問

2月26日

午後2時以降

市長にジェンダー平等を問う

総括質問 清水みな子市議 補足質問 やなぎ美智子市議

○本市のジェンダー平等の推進について

- ・現状と課題 ・日本のジェンダーギャップ指数の低さに対する認識
- (1) 健康なまちづくりについて

○自殺対策について

- ・実態把握 ・具体的な目標

○認知症地域支援推進員の配置について

- ・推進員の役割 ・全ての高齢者サポートセンターへの配置
- (2) 環境・安全なまちづくりについて

○公用車の考え方について

- ・全てを電気自動車に切り替える効果 ・市民への貸し出し

○下水道の早期整備について

- ・工事工法に問題はないのか ・住民説明会の開催について

○議案77条 市川市いじめ問題対策連絡協議会等の制定

- ・本案の提出に至った経緯 ・協議会等の設置の効果について

○新型コロナウイルス感染症の対策について

- (1) 65歳以上のPCR検査について
 - ・医師会や保健所との連携 ・周知方法に問題はなかったか
- (2) 公共施設の閉鎖について
 - ・他市の閉鎖状況との違い ・図書館の閉鎖の妥当性
- (3) ワクチン接種について
 - ・推進体制 ・スケジュール ・接種に向けた取り組み
- (4) 自宅待機の感染者への対応について
 - ・県・保健所との情報共有 ・自宅待機の感染者数 ・食料品・日用品の配布と配布方法 ・パルスオキシメーターの配布と利用状況
- (5) 高齢者施設の感染対策について
 - ・クラスター発生数 ・死亡・重症化例の検証と対策
 - ・PCR検査の実施状況 ・グループホームや認知症の方への対応

一般質問 廣田徳子市議

○子育て支援について

- ・新子育て安心プランをどのように取り入れるか
- ・待機児童の見込みと整備計画
- ・コロナ禍での公立保育園の必要性

○国民健康保険税について

- ・18歳以下の均等割の減免 ・一時的な減免の理由
- ・今後の考え方

○生活保護業務について

- ・業務委託の内容 ・自治体の役割

一般質問 金子貞作市議

○福祉行政について

- ・補聴器購入補助制度の創設の考え



○道路行政について

- ・私道の現状認識及び市道認定の考えについて

○斜面緑地について

- ・維持管理及び再生の考えについて

○コロナ禍での教育行政について

- ・少人数学級の実施及び学校公共施設個別計画の見直しについて
- ・不登校対策について
- ・子どもの読書推進計画及び実績について

<2月議会の日程>

2月16日13時 施政方針

25日10時 代表質問

3月4~8日 常任委員会

11日 委員長報告、

討論、採択(討論は高坂議員が行います)

日本共産党市川市議団報告

2021年2月発行 第327号

市川市八幡1-1-1 市川市役所内控え室 047-334-1111